

平成 30 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者  
(上伊那地域振興局管内分)

【森林づくり推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	とうきょうとしんじゅく 東京都新宿区	住所	東京都新宿区
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同区は、昭和 61 年から合併前の旧高遠町と友好連携を宣言し、合併により伊那市となった後も、「地球環境保全のための連携に関する協定」を締結するなど、伊那市との協働による森林整備を進めてこられました。</p> <p>これまでに、新宿区が伊那市内の市有林で実施した間伐面積は累計で約 234ha に達しているほか、森林の里親促進事業で認証された CO<sub>2</sub>吸収量は、約 2,700t-CO<sub>2</sub>にも達しています。</p> <p>また、伊那市内に設置された「新宿の森」には、毎年多くの新宿区民が森林整備を実際に体験して交流を図るなど、都市と地域との住民の交流による地域の活性化にも大きく貢献されています。</p>			

賞 名	長野県特用林産振興会長賞		
受賞者名	はやし とうよう 林 東洋	住所	駒ヶ根市
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同氏は、森林所有者の山離れが進み、関心も薄れる中で、マツタケ発生環境整備に長年にわたり取組まれ、マツタケ発生林・発生量の増加という多大なる成果を挙げられたことで、地域住民の森林に対する関心の向上に貢献されています。</p> <p>また、地元駒ヶ根市において結成されている「まつの会」の代表を務め、周辺地域の住民に対して、マツタケ発生環境整備技術の普及・啓発も積極的に行っており、マツタケによる地域振興にも大きく貢献されています。</p>			

【森林環境教育推進の部】

賞 名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	いなしりついなにししょうがっこう 伊那市立伊那西小学校	住所	伊那市
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同校は、開校翌年の昭和 26 年に隣接地にカラマツ 2,500 本を植栽することで学校林が設けられ、以降 70 年近くにわたり、児童や P T A などの手により、多様な植生を持つ豊かな森林に育てられ、その森林空間は日々の教育活動の場として活用され、この実体験を基にして児童の自然科学への理解を深めることにつながっています。</p> <p>また、学校林での松枯れ等の発生を踏まえ、地域住民の意見を踏まえた学校林整備指針の作成にも取り組むなど、地域住民との協働により学校林を次世代に引き継ぐ活動にも積極的に取り組まれています。</p>			

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	きーず KEESプロジェクト	住所	伊那市
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同団体は、平成 26 年度に長野県森林づくり県民税を活用して、地域産のアカマツを活用して穴あきブロックと角棒に加工して組み合わせる組立多用途ブロック「KEES」を開発し、希薄だった地域の里山と商店街をつなぐ仕組みを創出しました。</p> <p>また、「KEES」の制作や販売、「森の体験プログラム」の実施により多くの方々が木製品や里山を身近に感じるきっかけを作るとともに、木育活動を通じて幼児や児童が木に触れ合い、想像力を養う機会を提供するなど、森林づくり県民税の趣旨に合致し、その普及に大きく貢献されています。</p>			

(敬称略)